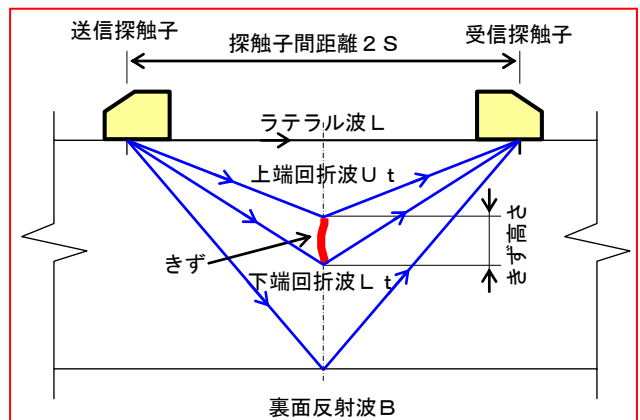
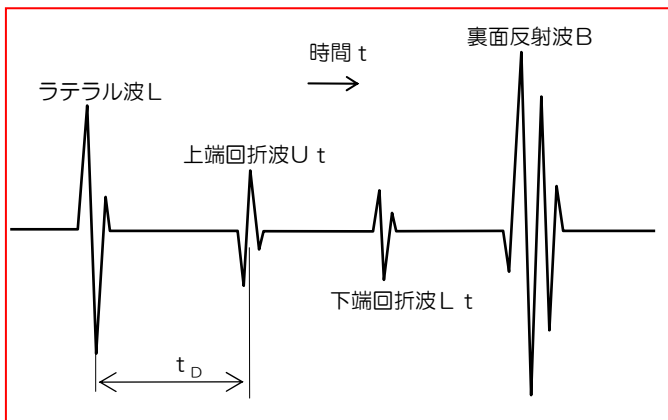


# TOFD探傷法による容器溶接部・内表面の損傷検査

## 【まえがき】

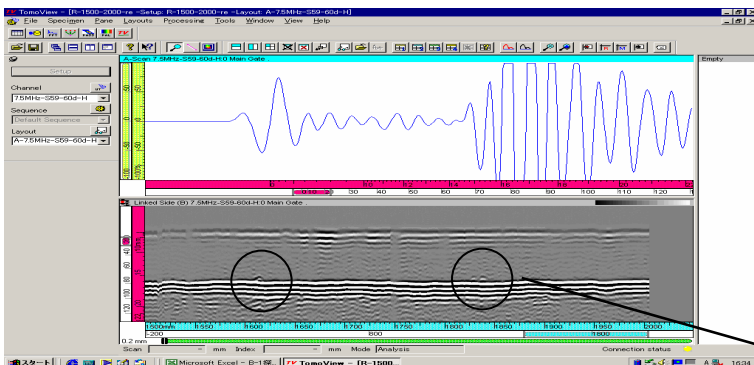
“TOFD探傷法”（Time-of-flight diffraction technique）は超音波モードの中で最も伝搬速度の早い縦波を使用し、2つの探触子間に存在する欠陥上端部からの散乱波と欠陥下端部からの回折波の伝搬時間差を計測して欠陥位置を測定する方法です。

## TOFD法の原理

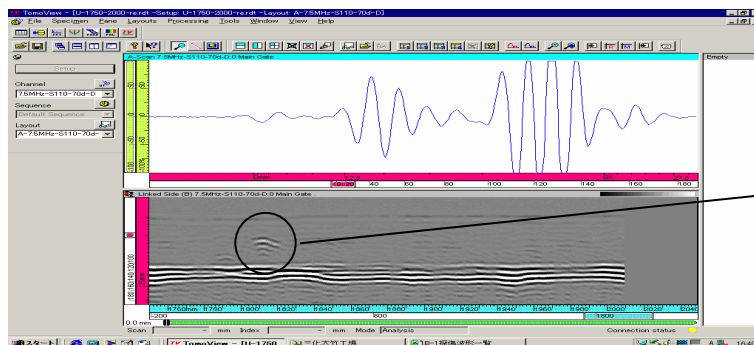


一般の超音波検査に加え、TOFD法に対応した機器、Cスキャン対応機器等を揃え、各種ニーズにお応え致します。

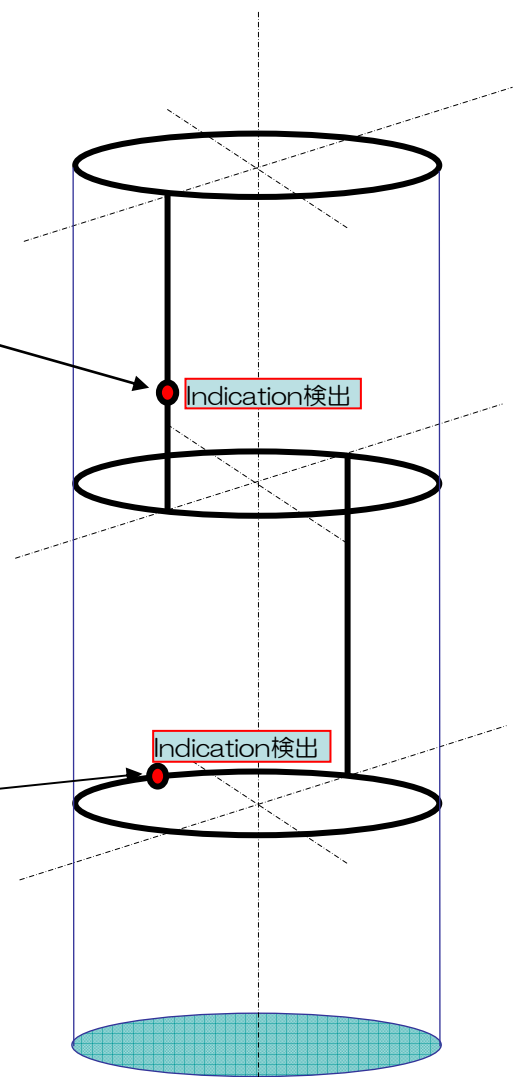
# 工事施工例



槽内表面のきず（カット、もしくは微細な割れと推察される）経年的な変化の追跡調査が必要



槽周溶接部内部のきず（溶接欠陥と推察される）次回調査時に経年的な変化の確認を推奨



内部の触媒等をそのままに  
外部より内表面検査に適用